

近畿厚生局長 殿

開設者名 国立大学法人
学長 福田 秀 樹

印

神戸大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3の規定に基づき、平成21年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	113人
--------	------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数



職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	526人	226人	640.8人	看護補助者	2人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	19人	28人	37.5人	理学療法士	11人	臨床検査技師	57人
薬剤師	54人	0人	54.0人	作業療法士	5人	臨床衛生検査技師	1人
保健師	0人	0人	0.0人	視能訓練士	11人	その他	0人
助産師	22人	0人	22.0人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧	0人
看護師	804人	11人	811.1人	臨床工学技士	23人	医療社会事業従事者	6人
准看護師	0人	1人	0.6人	栄養士	1人	その他の技術員	36人
歯科衛生士	2人	0人	2.0人	歯科技工士	1人	事務職員	187人
管理栄養士	7人	0人	7.0人	診療放射線技師	43人	その他の職員	24人

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数
歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	864.6人	15.0人	879.6人
1日当たり平均外来患者数	1,885.7人	83.5人	1,969.2人
1日当たり平均調剤数			1,581剤

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者数延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
インプラント義歯	14人
先天性血液凝固異常症の遺伝子診断	0人
成長障害のDNA診断	0人
エキシマレーザー冠動脈形成術	0人
家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	0人
色素性乾皮症の遺伝子診断	3人
悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	18人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術	1人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	94人	・膿疱性乾癬	2人
・多発性硬化症	51人	・広範脊柱管狭窄症	4人
・重症筋無力症	72人	・原発性胆汁性肝硬変	44人
・全身性エリテマトーデス	345人	・重症急性膵炎	12人
・スモン	1人	・特発性大腿骨頭壊死症	50人
・再生不良性貧血	19人	・混合性結合組織病	54人
・サルコイドーシス	52人	・原発性免疫不全症候群	5人
・筋萎縮性側索硬化症	25人	・特発性間質性肺炎	5人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	253人	・網膜色素変性症	43人
・特発性血小板減少性紫斑病	36人	・プリオン病	0人
・結節性動脈周囲炎	41人	・肺動脈性肺高血圧症	13人
・潰瘍性大腸炎	70人	・神経線維腫症	23人
・大動脈炎症候群	34人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ビュルガー病	23人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	3人
・天疱瘡	36人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	21人
・脊髄小脳変性症	64人	・ライソゾーム病	9人
・クローン病	25人	・副腎白質ジストロフィー	2人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	2人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0人
・悪性関節リウマチ	23人	・脊髄性筋萎縮症	1人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	103人	・球脊髄性筋萎縮症	1人
・アミロイドーシス	26人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	17人
・後縦靭帯骨化症	1人	・肥大型心筋症	6人
・ハンチントン病	17人	・拘束型心筋症	0人
・モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	17人	・ミトコンドリア病	5人
・ウェゲナー肉芽腫症	16人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	3人
・特発性拡張型(うつ血型)心筋症	119人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	2人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	43人	・黄色靭帯骨化症	0人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	2人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	111人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

5 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・画像支援ナビゲーション手術	・
・脊髄性筋萎縮症のDNA診断	・
・実物大臓器立体モデルによる手術計画	・
・超音波骨折治療法	・
・眼底3次元画像解析	・
・内視鏡下小切開泌尿器手術	・
・画像支援ナビゲーションシステムによる内視鏡下鼻内副鼻腔手術	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注)「施設基準等の種類」欄には、業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

6 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	①. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	週5
部 検 の 状 況	部検症例数 48 例 / 部検率 16.40%

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
高次システムとしての膵島機能の発現機構とその破綻	清野 進	糖尿病・代謝・内分泌内科学、糖尿病・内分泌内科	12,900,000	補委 日本学術振興会
治療遺伝子を用いた腰痛に対する低侵襲治療システムの開発	土井田 稔	整形外科学、整形外科、リハビリテーション部	1,900,000	補委 日本学術振興会
転写因子を標的とする蛍光相関分光法を用いた新規病態検査法の開発	熊谷 俊一	免疫・感染内科学、免疫内科、検査部、輸血部	3,300,000	補委 日本学術振興会
各種視神経変性モデルにおける網膜神経節細胞死と細胞外基質の関連の解明	根木 昭	眼科学、眼科	1,400,000	補委 日本学術振興会
アジアのヘリコバクターピロリ感染と消化器疾病構造の疫学調査研究	東 健	消化器内科学、消化器内科、ICMRT(東)難治疾患病態解析学、光学医療治療部	4,000,000	補委 日本学術振興会
認知機能関連遺伝子同定と機能解析	戸田 達史	分子脳科学	5,100,000	補委 日本学術振興会
CNV解析による先天性腎尿路奇形の新規原因遺伝子同定と遺伝子診断システムの確立	飯島 一誠	小児科学、小児科、周産母子センター(子)、親と子の心療部	4,100,000	補委 日本学術振興会
成人GH分泌不全症をモデルとした非アルコール性脂肪性肝炎の病態解明と治療法の開発	千原 和夫	(糖尿病・代謝・内分泌内科学)、内分泌グループ、カルシウム骨代謝グループ	5,500,000	補委 日本学術振興会
陽子線・炭素線の生物学的効果に関する基礎的比較・検討	菱川 良夫	放射線医学、放射線科、放射線部、放射線腫瘍科、画像診断学部門	4,100,000	補委 日本学術振興会
脱細胞化神経をバイオスキャフォールドとする新しいハイブリッド型人工神経の開発	寺師 浩人	形成外科学、形成外科、美容外科	4,300,000	補委 日本学術振興会
椎間板変性と関連する腰痛性疾患の病態の解明と最小侵襲治療システムの開発	西田 康太郎	整形外科学、整形外科、リハビリテーション部	6,200,000	補委 日本学術振興会
ヘリコバクターピロリ感染胃発癌における菌-宿主間クロストークのメタボローム解析	東 健	消化器内科学、消化器内科、ICMRT(東)難治疾患病態解析学、光学医療治療部	7,000,000	補委 日本学術振興会
Duchenne型筋ジストロフィーに合併する精神発達遅滞に関する新規遺伝子群	松尾 雅文	小児科学、小児科、周産母子センター(子)、親と子の心療部	8,100,000	補委 日本学術振興会
キャリア細胞を用いたアデノウイルスベクターによる頭頸部癌の遺伝子治療	丹生 健一	耳鼻咽喉科頭頸部外科学、耳鼻咽喉・頭頸部外科	5,100,000	補委 日本学術振興会
自殺における細胞内情報伝達の変化に関する分子遺伝学的研究	西口 直希	精神医学、精神科神経科	1,000,000	補委 日本学術振興会
膵頭十二指腸切除術周術期におけるG-CSF投与による手術成績及び医療経済の比較	外山 博近	肝胆膵外科学、肝胆膵外科、救急・集中治療センター	900,000	補委 日本学術振興会
分割膵島・膵臓同時移植の確立	松本 逸平	肝胆膵外科学、肝胆膵外科、救急・集中治療センター	900,000	補委 日本学術振興会
拡散テンソル画像によるびまん性軸索損傷の定量評価：予後判定の有効性の検証	細田 弘吉	脳神経外科学、脳神経外科	900,000	補委 日本学術振興会
顔面神経麻痺への顔面神経-舌下神経クロスリンク型神経移植術における神経科学的研究	橋川 和信	形成外科学、形成外科、美容外科	600,000	補委 日本学術振興会
漢方腹診書・鍼灸流儀書に関する書誌研究	長野 仁	小児科学分野ゲノム医療実践学部門	1,500,000	補委 日本学術振興会

小計
20

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
妊娠の進行に伴う胎盤の組織変化と生体必須物質透過性との関連	平野 剛	薬物動態学, 薬剤学, 薬剤部	1,000,000	補委 日本学術振興会
胃粘膜幹細胞におけるCdx2の機能解析	横崎 宏	病理学	900,000	補委 日本学術振興会
関節リウマチ患者における概日リズム変化と睡眠障害の解析	柱本 照	リウマチ学(寄附講座)	600,000	補委 日本学術振興会
マイクロRNAによる関節リウマチの新規診断・治療法の開発	中町 祐司	検査部	1,000,000	補委 日本学術振興会
抗原蛋白を表層ディスプレイする遺伝子組み換えビフィズス菌を用いた経口ワクチン	白川 利朗	感染制御学	1,400,000	補委 日本学術振興会
筋ジストロフィーのアンチセンス治療におけるシグナル伝達因子の動態に関する研究	竹島 泰弘	小児科学、小児科、周産母子センター(子)、親と子の心療部	1,100,000	補委 日本学術振興会
3.0T MR装置による新たな肺癌核磁気共鳴(MR)診断法の開発	大野 良治	放射線医学、放射線科、放射線部、放射線腫瘍科、画像診断学部門	1,400,000	補委 日本学術振興会
3テスラ磁気共鳴装置による関節軟骨移植療法の非侵襲的診断法の開発	藤井 正彦	放射線医学、放射線科、放射線部、放射線腫瘍科、画像診断学部門	1,600,000	補委 日本学術振興会
血管新生誘導による移植膵島の生着改善効果の検討	辻村 敏明	肝胆膵外科学、肝胆膵外科、救急・集中治療センター	1,300,000	補委 日本学術振興会
肝癌切除後再発高危険群に対する高用量肝局所化学療法の再発防止効果の研究	具 英成	肝胆膵外科学、肝胆膵外科、救急・集中治療センター	1,000,000	補委 日本学術振興会
小口径人工血管(2mm)吻合部狭窄に対するビオグリタゾンの抑制効果	岡田 健次	心臓血管外科学、心臓血管外科	900,000	補委 日本学術振興会
肺腺癌浸潤における宿主由来線維芽細胞の役割に関する研究	眞庭 謙昌	心臓血管外科学、心臓血管外科	1,100,000	補委 日本学術振興会
TDT解析を用いた日本人子宮内膜症発症関連遺伝子の解明	吉田 茂樹	産科婦人科学、産科婦人科、周産母子センター	1,400,000	補委 日本学術振興会
婦人科悪性腫瘍におけるリガンド非依存性エストロゲン受容体(ER)活性化機構の解明	須藤 保	肝胆膵外科学、肝胆膵外科、救急・集中治療センター	1,200,000	補委 日本学術振興会
ヒト乳頭腫ウイルス遺伝子を標的とした頭頸部癌に対する遺伝子治療	大月 直樹	耳鼻咽喉科頭頸部外科学、耳鼻咽喉・頭頸部外科	1,200,000	補委 日本学術振興会
狭義加齢黄斑変性症とポリープ状脈絡膜血管症におけるブルッフ膜構成分子遺伝子多型	本田 茂	眼科学、眼科	1,300,000	補委 日本学術振興会
糖尿病網膜血管病変の発生と進展に及ぼす網膜神経組織変性の影響	中村 誠	眼科学、眼科	700,000	補委 日本学術振興会
脈管奇形病変における血管とリンパ管の客観的識別及びその3次元構造の解明と臨床応用	一瀬 晃洋	形成外科学、形成外科、美容外科	1,300,000	補委 日本学術振興会
骨髄由来間葉系幹細胞とがん細胞の相互作用: 幹細胞性獲得と浸潤・転移能に及ぼす影響	仙波 秀峰	病理学	2,100,000	補委 日本学術振興会
IgG-Fc受容体を介した免疫複合体の細胞内輸送システムと免疫制御機構の解明	吉田 優	消化器内科学、消化器内科、ICMRT(東)難治疾患病態解析学、光学医療治療部	1,300,000	補委 日本学術振興会

小計 累計
20 40

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
質量分析機器を用いた肝がんの超早期診断方法の開発	瀬尾 靖	消化器内科学、消化器内科、ICMRT(東)難治疾患病態解析学、光学医療治療部	1,300,000	補委 日本学術振興会
臨床・基礎融合研究による動脈硬化不安定粥腫ないしその破綻の新規診断法の開発	志手 淳也	循環器内科学、循環器内科、冠動脈疾患治療部、不整脈先端治療学部門(寄附講座)	1,300,000	補委 日本学術振興会
血清中血管内皮リパーゼ酵素活性の測定法確立と血清HDL値の関連の検討	石田 達郎	循環器内科学、循環器内科、冠動脈疾患治療部、不整脈先端治療学部門(寄附講座)	1,500,000	補委 日本学術振興会
スフィンゴシンを介した気道粘液産生の制御	西村 善博	呼吸器内科学、呼吸器内科	1,800,000	補委 日本学術振興会
320列領域検出器型CTを用いた閉塞性肺疾患への抗炎症薬の効果	小谷 義一	呼吸器内科学、呼吸器内科	2,400,000	補委 日本学術振興会
脂肪滴蛋白FSP27が可能にする効率的な細胞内脂肪滴蓄積の分子メカニズムの解明	田守 義和	糖尿病・代謝・内分泌内科学、糖尿病・内分泌内科	1,900,000	補委 日本学術振興会
筋と骨ミネラル代謝の相互関連の解明	梶 博史	(糖尿病・代謝・内分泌内科学)、内分泌グループ、カルシウム骨代謝グループ	1,500,000	補委 日本学術振興会
カベオラ膜結合型ビタミンD受容体を介する神経-骨-免疫系による造血制御の解明	松井 利充	血液内科学、血液内科	2,200,000	補委 日本学術振興会
ヒストン脱アセチル化酵素阻害剤の免疫制御機構の解明と新規細胞治療法の開発	森信 暁雄	臨床検査医学 臨床検査・免疫学	1,000,000	補委 日本学術振興会
320列領域検出器型CTを用いた慢性閉塞性肺疾患・気管支喘息の形態機能診断法開発	竹中 大祐	放射線医学、放射線科、放射線部、放射線腫瘍科、画像診断学部門	2,600,000	補委 日本学術振興会
320列領域検出器型CTを用いた肝胆膵悪性腫瘍における形態・機能融合診断法の開発	吉川 武	放射線医学、放射線科、放射線部、放射線腫瘍科、画像診断学部門	3,000,000	補委 日本学術振興会
オートファジーを標的とした肺癌に対する集学的な新規放射線化学療法の開発	岡本 欣晃	放射線医学、放射線科、放射線部、放射線腫瘍科、画像診断学部門	1,600,000	補委 日本学術振興会
糖尿病の再生医療を目指した成体幹細胞の分離・増殖に関する研究	堀 裕一	肝胆膵外科学、肝胆膵外科、救急・集中治療センター	2,000,000	補委 日本学術振興会
軸索再生阻害因子の抑制による顔面神経再生の誘導	谷口 理章	脳神経外科学、脳神経外科	1,300,000	補委 日本学術振興会
表在性膀胱癌の再発関連分子の同定とそれを標的にした新規治療法の開発	三宅 秀明	腎泌尿器科学、泌尿器科	1,000,000	補委 日本学術振興会
Sox4による子宮筋腫発育制御機構に及ぼすSPRMの作用機序の解明	小原 範之	産科婦人科学、産科婦人科、周産母子センター	1,200,000	補委 日本学術振興会
銀イオンが創傷治癒機転に及ぼす影響の分子生物学的解析-創傷治癒を促進させるか-	皐月 玲子	形成外科学、形成外科、美容外科	2,200,000	補委 日本学術振興会
点字文書提供システムを使った点訳文書の整備と病院内運用体制の構築	大島 敏子	看護部	2,100,000	補委 日本学術振興会
上部消化管病巣の高空間分解能イメージングのためのMR内視鏡システムの開発	松岡 雄一郎	消化器内科学、消化器内科、ICMRT(東)難治疾患病態解析学、光学医療治療部	1,000,000	補委 文部科学省
TDT解析を利用した遺伝疫学的アプローチによる子宮筋腫発症関連遺伝子の解明	北尾 敬祐	産科婦人科学、産科婦人科、周産母子センター	400,000	補委 文部科学省

小計 累計
20 60

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
ヘリコバクター感染胃がんモデルにおけるTh細胞の役割	高川 哲也	消化器内科学、消化器内科、ICMRT(東)難治疾患病態解析学、光学医療治療部	1,100,000	補委 文部科学省
血管内皮一単球の相互作用の制御による新規の抗動脈硬化療法の検討	安田 知行	循環器内科学、循環器内科、冠動脈疾患治療部、不整脈先端治療学部門(寄附講座)	1,600,000	補委 文部科学省
悪性リンパ系腫瘍におけるTFL遺伝子欠失と臨床病態に関する臨床研究	皆川 健太郎	血液内科学、血液内科	1,100,000	補委 文部科学省
皮膚樹状細胞の免疫制御における新しい働き の解明	福永 淳	皮膚科学、皮膚科	1,500,000	補委 文部科学省
死後脳研究に基づいた統合失調症候補遺伝子の同定	福武 将映	精神医学、精神科神経科	900,000	補委 文部科学省
高磁場MR画像とPET画像を融合させた新たな前立腺がん評価方法の開発	前田 哲雄	放射線医学、放射線科、放射線部、放射線腫瘍科、画像診断学部門	900,000	補委 文部科学省
過小グラフトを用いた成人生体肝移植の安全性向上に関する研究	尾形 哲	肝胆臓外科学、肝胆臓外科、救急・集中治療センター	900,000	補委 文部科学省
椎間板変性メカニズムの解析	前野 耕一郎	整形外科、整形外科、リハビリテーション部	900,000	補委 文部科学省
低出力超音波パルスが新鮮骨折と難治性骨折の治癒に及ぼす作用についての生物学的検討	新倉 隆宏	整形外科、整形外科、リハビリテーション部	1,100,000	補委 文部科学省
前立腺癌増悪機構における上皮間質相互関係の役割	重村 克巳	腎泌尿器科学、泌尿器科	1,100,000	補委 文部科学省
膀胱癌におけるジェムシタビン耐性克服を目的とした分子標的治療の基礎的研究	村蒔 基次	腎泌尿器科学、泌尿器科	700,000	補委 文部科学省
Aurora-Aを介する腎細胞癌及び前立腺癌の進展機構の解明および新規治療の開発	熊野 晶文	腎泌尿器科学、泌尿器科	1,800,000	補委 文部科学省
経静脈的蝸牛への骨髄間質幹細胞移植	谷本 均	耳鼻咽喉科頭頸部外科学、耳鼻咽喉・頭頸部外科	800,000	補委 文部科学省
fMRIと近赤外線酸素モニターを用いた嗅覚の中樞機構解明に関する研究	土井 清司	耳鼻咽喉科頭頸部外科学、耳鼻咽喉・頭頸部外科	500,000	補委 文部科学省
ベッドサイドで簡単に行える創傷チェッカーの開発	榊原 俊介	形成外科学、形成外科、美容外科	1,200,000	補委 文部科学省
消化管癌治療に対するMR内視鏡システムを用いた新たな治療支援技術の開発	森田 圭紀	消化器内科学、消化器内科、ICMRT(東)難治疾患病態解析学、光学医療治療部	1,700,000	補委 文部科学省
メタボローム解析によるアリアル炭化水素受容体依存的な生体内代謝変動の評価	西海 信	消化器内科学、消化器内科、ICMRT(東)難治疾患病態解析学、光学医療治療部	2,200,000	補委 文部科学省
病院向け自動点訳プログラムの開発	菅野 亜紀	小児科学分野ゲノム医療実践学部門	1,800,000	補委 文部科学省
胃がんにおけるPI3K経路活性化機構の解明とキナーゼ阻害薬の個別化治療への応用	向原 徹	腫瘍内科学、腫瘍内科	1,700,000	補委 文部科学省
データマイニングによる自己抗体の診断能、費用効果性の研究	西村 邦宏	臨床検査医学「立証検査医学(シスメックス寄附講座)」	1,000,000	補委 文部科学省

小計 累計
20 80

研 究 課 題 名	研究者氏名	所 属 部 門	金 額	補 助 元 又 は 委 託 元
母親の免疫状態が子供の気管支喘息発症に与える影響	小林 和幸	呼吸器内科学、呼吸器内科	1,900,000	補 委 文部科学省
好塩基球上のFcεレセプターを介した気管支喘息の制御	船田 泰弘	呼吸器内科学、呼吸器内科	1,800,000	補 委 文部科学省
慢性腎臓病における心病変進展と酸化ストレスの影響	藤井 秀毅	腎・血液浄化センター、腎臓内科学、腎臓内科	1,900,000	補 委 文部科学省
最新の遺伝子解析技術を駆使した先天性尿細管チャネル・輸送体異常症の分子機構の解明	野津 寛大	小児科学、小児科、周産母子センター(子)、親と子の心療部	1,700,000	補 委 文部科学省
ジストロフィン遺伝子に挿入された動く遺伝子に関する研究	栗野 宏之	小児科学、小児科、周産母子センター(子)、親と子の心療部	1,900,000	補 委 文部科学省
子宮内胎児発育遅延の発症における胎盤形成遺伝子の関与に関する研究	森岡 一朗	小児科学、小児科、周産母子センター(子)、親と子の心療部	2,100,000	補 委 文部科学省
腫瘍免疫および腫瘍ワクチン免疫機構におけるIL-17産生細胞の役割の検討	鬼木 俊太郎	皮膚科学、皮膚科	2,200,000	補 委 文部科学省
ストレス応答を制御するHPA系に着目した自殺関連遺伝子の同定	菱本 明豊	精神医学、精神科神経科	1,700,000	補 委 文部科学省
EGFR阻害剤とDNA二重鎖切断修復に関する基礎的研究	西村 英輝	放射線医学、放射線科、放射線部、放射線腫瘍科、画像診断学部門	1,800,000	補 委 文部科学省
円筒状バルーンを用いた大動脈解離に対する新たな血管内治療法の開発	山口 雅人	放射線医学、放射線科、放射線部、放射線腫瘍科、画像診断学部門	1,400,000	補 委 文部科学省
軟骨細胞におけるSIRT1の役割	松下 雄彦	整形外科、整形外科、リハビリテーション部	2,400,000	補 委 文部科学省
限局性前立腺癌における微小リンパ節転移の検出とその臨床病理学的意義に関する検討	倉橋 俊史	腎泌尿器科学、泌尿器科	1,400,000	補 委 文部科学省
膀胱癌進展の分子機構におけるAurora-Aの役割の解明および新規治療の開発	酒井 伊織	腎泌尿器科学、泌尿器科	800,000	補 委 文部科学省
前立腺癌のホルモン非依存性進展におけるInterleukin-6の役割の解明	寺川 智章	腎泌尿器科学、泌尿器科	800,000	補 委 文部科学省
ストレス関連新規CRHファミリーペプチド及び受容体の卵巣機能に与える影響の解析	中林 幸士	産科婦人科学、産科婦人科、周産母子センター	1,800,000	補 委 文部科学省
COX2制限増殖型アデノウイルスベクターを用いた頭頸部癌に対する遺伝子治療	中川 貴博	耳鼻咽喉科頭頸部外科学、耳鼻咽喉・頭頸部外科	1,600,000	補 委 文部科学省
音響外傷性難聴の病態解明および新しい治療法の開発	山下 大介	耳鼻咽喉科頭頸部外科学、耳鼻咽喉・頭頸部外科	2,100,000	補 委 文部科学省
唾液を用いたp53変異遺伝子検出による口腔癌診断法の臨床応用	小松原 秀紀	口腔外科学、歯科口腔外科	2,000,000	補 委 文部科学省
メタボローム解析による大腸がんのバイオマーカー探索	奥野 達哉	消化器内科学、消化器内科、ICMRT(東)難治疾患病態解析学、光学医療治療部	1,200,000	補 委 日本学術振興会
早期食道癌全周性切除後狭窄に対する予防法の開発	豊永 高史	消化器内科学、消化器内科、ICMRT(東)難治疾患病態解析学、光学医療治療部	1,200,000	補 委 日本学術振興会

小計 累計
20 100

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
IL-1βとインテグリンとの直接結合によるシグナル伝達機構の解析	三枝 淳	臨床検査医学 臨床検査・免疫学	1,200,000	補委 日本学術振興会
放射線抵抗性を規定するNF-κB活性化の基礎的・臨床的意義の検討	河邊 哲也	放射線医学、放射線科、放射線部、放射線腫瘍科、画像診断学部門	1,200,000	補委 日本学術振興会
メタゲノム解析およびメタボローム解析を用いた総合的大腸がん診断システムの開発	吉田 志栄	消化器内科学、消化器内科、ICMRT(東)難治疾患病態解析学、光学医療治療部	1,050,000	補委 日本学術振興会
アリアルドヒドロカーボン受容体を介したNASHの新たな進展機構の解明	三木 章	消化器内科学、消化器内科、ICMRT(東)難治疾患病態解析学、光学医療治療部	1,050,000	補委 日本学術振興会
IPS細胞の椎間板変性治療への応用と生体内IPS細胞バンク作成の試み	角谷 賢一郎	整形外科学、整形外科、リハビリテーション部	1,050,000	補委 日本学術振興会
大腸菌の臨床株のefflux pump遺伝子発現と抗菌薬耐性の相関	安福 富彦	腎泌尿器科学、泌尿器科	1,050,000	補委 日本学術振興会
骨細胞による造血幹細胞ニッチの制御機構の解明	佐藤 真理	血液内科学、血液内科	1,350,000	補委 日本学術振興会
成長ホルモン、IGF-1による非アルコール性脂肪性肝炎の治療応用	高橋 裕	(糖尿病・代謝・内分泌内科学)、内分泌グループ、カルシウム骨代謝グループ	7,500,000	補委 文部科学省
囊胞包装ケラチノサイトの細胞代謝機能と幹細胞局在における由来上皮間比較	古森 孝英	口腔外科学、歯科口腔外科	800,000	補委 日本学術振興会
頸椎症性脊髄症に対する低侵襲手術システムの開発	西田 康太郎	整形外科学、整形外科、リハビリテーション部	1,200,000	補委 日本学術振興会
無血清線維芽細胞培養方法の確立	寺師 浩人	形成外科学、形成外科、美容外科	1,900,000	補委 日本学術振興会
新規Znフィンガーファミリーがん抑制遺伝子を介する多段階がんモデルの確立	松井 利充	血液内科学、血液内科	5,200,000	補委 文部科学省
ヒト胃内感染ヘリコバクター属、ピロリとハイルマニのゲノム解析と病原性遺伝子の解明	東 健	消化器内科学、消化器内科、ICMRT(東)難治疾患病態解析学、光学医療治療部	4,000,000	補委 文部科学省
肝炎ウイルスによる発がん機構の解明に関する研究	堀田 博	微生物学	39,000,000	補委 厚生労働省
鋳弓耳腎(BOR)症候群の発症頻度調査と遺伝子診断法の確立に関する研究	飯島 一誠	小児科学、小児科、周産母子センター(子)、親と子の心療部	26,000,000	補委 厚生労働省
鋳弓耳腎(BOR)症候群の発症頻度調査と遺伝子診断法の確立に関する研究	野津 寛大	小児科学、小児科、周産母子センター(子)、親と子の心療部	2,000,000	補委 厚生労働省
運動器の不安定性に關与する姿勢と中枢制御機能に着目した転倒防止ガイドライン策定研究	櫻井 孝	総合内科	1,500,000	補委 厚生労働省
構造生物学的アプローチによるアルツハイマー病の病態解明と分子標的治療の開発	廣明 秀一	構造生物学	5,000,000	補委 厚生労働省
ワクチン戦略による麻疹および先天性風疹症候群の排除、およびワクチンで予防可能疾患の疫学並びにワクチンの有用性に関する基礎的臨床的研究	森 康子	臨床ウイルス学分野	2,000,000	補委 厚生労働省
臓器移植患者の予後およびQOLの向上のための真菌やウイルス感染症の予防・診断・治療に関する研究	森 康子	臨床ウイルス学分野	7,000,000	補委 厚生労働省

小計 累計
20 120

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
インフルエンザ脳症など重症インフルエンザの発症機序の解明とそれに基づく治療法、予防法の確立に関する研究	新矢 恭子	人獣共通感染症学	3,000,000	(補) 厚生労働省 委
中性脂肪蓄積心血管症の発見—その疾患概念の確立、診断法、治療法の開発	戸田 達史	神経内科学・分子脳科学	1,000,000	(補) 厚生労働省 委
コレステリルエステル転送蛋白欠損症の病態把握のための疫学研究	戸田 達史	神経内科学・分子脳科学	1,000,000	(補) 厚生労働省 委
稀少難治性皮膚疾患克服のための生体試料の収集に関する研究	錦織千佳子	皮膚科学、皮膚科	600,000	(補) 厚生労働省 委
糖尿病関連血管病(動脈硬化・足病変)の早期診断・治療のための高感度分子イメージングプローブの開発	塩見 雅志	動物実験施設	1,000,000	(補) 厚生労働省 委
肝炎ウイルスと代謝・免疫系の相互作用に関する包括的研究	勝二 郁夫	微生物学	5,000,000	(補) 厚生労働省 委
糖尿病患者における心血管イベント発症に関する後ろ向きコホートに関する研究	大北 裕	心臓血管外科学	447,000	(補) 厚生労働省 委
福山型筋ジストロフィーおよび類縁疾患のユニークな治療法開発と病態解明	戸田 達史	神経内科学・分子脳科学	27,300,000	(補) 厚生労働省 委
急性冠症候群の疾患モデルウサギの開発及びバイオリソースの樹立	塩見 雅志	動物実験施設	7,611,000	(補) 厚生労働省 委
C型肝炎ウイルスキャリア成立の分子基盤と新規治療薬開発のための基礎的研究	堀田 博	微生物学	12,000,000	(補) 厚生労働省 委
救急医療体制の推進に関する研究	石井 昇	災害・救急医学、救急部、救命救急科	500,000	(補) 厚生労働省 委
神経皮膚症候群に関する調査研究	苅田 典生	神経内科学	1,200,000	(補) 厚生労働省 委
神経皮膚症候群に関する調査研究	錦織千佳子	皮膚科学、皮膚科	2,700,000	(補) 厚生労働省 委
早期消化器がんに対する内視鏡的治療の安全性と有効性の評価に関する研究	森田 圭紀	消化器内科	650,000	(補) 厚生労働省 委
脊髄障害防止の観点からみた胸部下行・胸腹部大動脈瘤外科治療ないしはステントグラフト治療体系の確立	大北 裕	心臓血管外科学	500,000	(補) 厚生労働省 委
がんの腹膜播種に対する標準的治療の確立に関する研究	奥野 達哉	消化器内科	800,000	(補) 厚生労働省 委
ANCA関連血管炎のわが国における治療法の確立のための多施設協同前向き臨床研究	熊谷 俊一	免疫・感染内科学	1,300,000	(補) 厚生労働省 委
膝痛患者に対する3.0テスラMRIを用いての高精度画像診断技術の確立と膝痛の増悪因子の解明に関する研究	黒坂 昌弘	整形外科	3,800,000	(補) 厚生労働省 委
早期前立腺がんにおける根治術後の再発に対する標準的治療法の確立に関する研究	藤澤 正人	腎泌尿器科学	300,000	(補) 厚生労働省 委
プリオン病及び遅発性ウイルスに関する調査研究	堀田 博	微生物学	2,000,000	(補) 厚生労働省 委

小計 累計
20 140

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
重症難病患者の地域医療体制の構築に関する研究	戸田 達史	神経内科学・分子脳科学	2,000,000	(補) 厚生労働省 委
神経変性疾患に関する調査研究	戸田 達史	神経内科学・分子脳科学	1,200,000	(補) 厚生労働省 委
網膜脈絡膜・視神経萎縮症に関する調査研究	根木 昭	眼科学、眼科	3,000,000	(補) 厚生労働省 委
全新生児を対象とした先天性サイトメガロウイルス (CMV) 感染スクリーニング体制の構築に向けたパイロット調査と感染児臨床像の解析エビデンスに基づく治療指針の基盤策定	山田 秀人	産科婦人科学、産科婦人科、周産母子センター	1,500,000	(補) 厚生労働省 委
不育症治療に関する再評価と新たな治療法の開発に関する研究	山田 秀人	産科婦人科学、産科婦人科、周産母子センター	650,000	(補) 厚生労働省 委
ゲノム解析によるパーキンソン病遺伝子同定と創薬・テラーメード研究	戸田 達史	神経内科学・分子脳科学	49,748,000	(補) 厚生労働省 委
Duchenne型筋ジストロフィーのエクソンスキッピング誘導治療	松尾 雅文	小児科学、小児科、周産母子センター(子)、親と子の心療部	20,000,000	(補) 厚生労働省 委
バリア機能障害によるアトピー性疾患病態解明に関する研究	古瀬 幹夫	細胞生物学	2,000,000	(補) 厚生労働省 委
肝炎ウイルスにより惹起される炎症性誘発要因及びウイルス増殖に対する人為的制御による肝炎制圧	堀田 博	微生物学	6,500,000	(補) 厚生労働省 委
薬剤耐性肝炎ウイルス感染の病態解明と対策に関する研究	堀田 博	微生物学	2,000,000	(補) 厚生労働省 委
治療関連合併症を減少させて同種造血幹細胞移植後の生存率の向上を目指す標準的治療法の開発研究	松井 利充	血液内科学、血液内科	1,000,000	(補) 厚生労働省 委
高齢者医療とQOL改善に対するグレリンの臨床応用と基盤的研究	千原 和夫	糖尿病・代謝・内分泌内科学、糖尿病・内分泌内科	1,200,000	(補) 厚生労働省 委
新しい薬物療法の導入とその最適化に関する研究	南 博信	腫瘍内科学、腫瘍内科	3,200,000	(補) 厚生労働省 委
原発不明がんの診断・効果的治療の確立に関する研究	南 博信	腫瘍内科学、腫瘍内科	500,000	(補) 厚生労働省 委
咽頭冷却による選択的脳冷却法の臨床応用を目的とした研究	川嶋 隆久	災害・救急医学、救急部、救命救急科	150,000	(補) 厚生労働省 委
臨床試験を実地臨床とするための抗悪性腫瘍薬の臨床薬理研究	南 博信	腫瘍内科学、腫瘍内科	1,400,000	(補) 厚生労働省 委
眼部悪性腫瘍の診療体制確立	安積 淳	眼科学、眼科	1,500,000	(補) 厚生労働省 委
生検組織や細胞を用いたがんの治療感受性予知法および治療効果判定法の確立に関する研究	横崎 宏	病理学	14,450,000	(補) 厚生労働省 委
がんの集学的治療の早期開発の研究体制確立に関する研究	南 博信	腫瘍内科学、腫瘍内科	1,000,000	(補) 厚生労働省 委
食道腺癌の高危険群の同定および予防介入試験に関する研究	森田 圭紀	消化器内科	1,600,000	(補) 厚生労働省 委

小計 累計
20 160

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
がんの診断治療用光学機器の開発	豊永 高史	消化器内科	1,800,000	補 委 厚生労働省
がん外科治療における形成再建外科標準術式の確立に関する研究	橋川 和信	形成外科学、形成外科、美容外科	1,450,000	補 委 厚生労働省
インスリンの標的細胞・臓器におけるシグナル伝達・代謝経路の解析	小川 涉	糖尿病・代謝・内分泌内科学、糖尿病・内分泌内科	8,000,000	補 委 独立行政法人 科学技術振興機構
糖代謝恒常性を維持する細胞機能の制御機構の解明	清野 進	糖尿病・代謝・内分泌内科学、糖尿病・内分泌内科	90,753,000	補 委 独立行政法人 科学技術振興機構
炎症性サイトカインを中心としたバイオマーカー研究	清野 進	糖尿病・代謝・内分泌内科学、糖尿病・内分泌内科	5,000,000	補 委 財団法人先端医療振興財団
企業勤務者を対象とした代謝改善介入研究	清野 進	糖尿病・代謝・内分泌内科学、糖尿病・内分泌内科	10,000,000	補 委 財団法人先端医療振興財団
国際連携による糖尿病遺伝素因の解明と新規診断法の開発(広域化プログラム)	清野 進	糖尿病・代謝・内分泌内科学、糖尿病・内分泌内科	5,000,000	補 委 財団法人先端医療振興財団
腹腔臓器MRイメージングのための消化管内設置型RFコイル開発	松岡 雄一郎	消化器内科	1,539,000	補 委 独立行政法人科学技術振興機構 JST イノベーションラボ 大阪
新規バイオマーカーTFLを用いたがん診断法の開発と臨床応用	松井 利充	血液内科学、血液内科	1,539,000	補 委 独立行政法人科学技術振興機構 JST イノベーションラボ 大阪
ヘリコバクター・ハイルマニ感染症検査法の確立	東 健	消化器内科学、消化器内科、ICMRT(東)難治疾患病態解析学、光学医療治療部	1,539,000	補 委 独立行政法人科学技術振興機構 JST イノベーションラボ 大阪
腫瘍特異的増殖型アデノウイルスをアジュバンドとする新規腫瘍細胞ワクチン	白川 利朗	感染制御学	¥1,539,000	補 委 独立行政法人科学技術振興機構 JST イノベーションラボ 大阪
中途視覚障害者の社会復帰支援のための点字e-learningの開発	大田 美香	小児科学(ゲノム医療実践学)	1,539,000	補 委 独立行政法人科学技術振興機構 JST イノベーションラボ 大阪
筋ジストロフィーに対する治療研究を臨床に展開するための統括的研究	松尾 雅文	小児科学、小児科、周産母子センター(子)、親と子の心療部	2,500,000	補 委 支出負担行為担当官 国立精神・神経センター
筋ジストロフィーの臨床試験実施体制構築に関する研究	竹島 泰弘	小児科学、小児科、周産母子センター(子)、親と子の心療部	1,000,000	補 委 支出負担行為担当官 国立精神・神経センター
筋ジストロフィーおよびその関連疾患の分子病態解明、診断法確立と薬物治療の開発に関する研究	戸田 達史	神経内科学・分子脳科学	2,000,000	補 委 支出負担行為担当官 国立精神・神経センター
小児救急初期拠点への常勤的な医師確保策の調査研究	松尾雅文	小児科学、小児科、周産母子センター(子)、親と子の心療部	500,000	補 委 神戸市代表者 神戸市長 矢田立郎
虚血性心疾患における心電図同期SPECT(DGS)検査に関する国内臨床データベース作成のための調査研究-3 慢性腎臓病患者における心電図同期心筋SPETCの有用性検討のための調査研究(J-ACCESS III)	川合宏哉	循環器内科学	242,308	補 委 財団法人循環器病研究振興財団
神経変性疾患 iPS細胞由来疾患材料を用いた遺伝学的解析	戸田 達史	神経内科学・分子脳科学	4,000,000	補 委 独立行政法人 科学技術振興機構
20指-1認知症、運動器疾患等の長寿(老年)医療に係るネットワーク等社会基盤構築に関する研究	前田 潔	精神医学、精神神経科	2,000,000	補 委 支出負担行為担当官 国立長寿医療センター
ヘリコバクターピロリ感染による胃癌誘導因子の疫学的解析研究	東 健	消化器内科学、消化器内科、ICMRT(東)難治疾患病態解析学、光学医療治療部	7,692,308	補 委 支出負担行為担当官 文部科学省研究振興局長

小計 累計
20 180

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
次世代生命体統合シミュレーションソフトウェアの研究開発(インスリン分泌シミュレーターの研究開発)	清野 進	糖尿病・代謝・内分泌内科学、糖尿病・内分泌内科	6,490,000	補 委 支出負担行為担当 官 文部科学省研究 振興局長
アンチスリコ「スレイト」を用いたデュエンス型筋ジストロフィーオーダーメイド医療を産業化するシステムの確立	松尾雅文	小児科学、小児科、周産母子センター(子)、親と子の心療部	27,692,000	補 委 NED (独) 新エネルギー・産業技術総合開発機構
NEDOプロジェクト「基礎から臨床への橋渡し促進技術開発/橋渡し促進技術開発/アルツハイマー病総合診断体系実用化プロジェクト……」	前田 潔	精神医学、精神神経科	4,273,680	補 委 バイオテクノロジー開発技術研究組合
平成21年度地域イノベーション創出研究開発事業(醸造副産物のスキンケア製品への利用技術の開発)	吉田 優信 西海	消化器内科学、消化器内科、ICMRT(東)難治疾患病態解析学、光学医療治療部	4,656,646	補 委 財団法人新産業創造研究機構
二国間交流事業(ベトナム:ヘリコバクターピロリ感染症による胃癌リスク解析)	東 健	消化器内科学、消化器内科、ICMRT(東)難治疾患病態解析学、光学医療治療部	2,499,000	補 委 独立行政法人日本学術新研究会 理事長 小野元之
二国間交流事業(韓国:癌細胞ワクチンによるオリコリティック・アデノウイルスの新規ドラッグデリバリー)	白川 利朗	感染制御学	¥1,200,000	補 委 独立行政法人日本学術新研究会 理事長 小野元之
乳児検診における発達障害の兆候に関する調査	松尾雅文	小児科学、小児科、周産母子センター(子)、親と子の心療部	1,000,000	補 委 神戸市代表者 神戸市長 矢田立郎
膵がん切除後の補助化学療法における塩酸ゲムシタピン療法とS-1療法の第Ⅲ相比較試験	具 英成	肝胆膵外科	724,500	補 委 財団法人しずおか産業創造機構
StageⅢ(DukesC)結腸癌治療切除例に対する術後補助化学療法としてのカベンタピンの至適投与期間に関するランダム化第Ⅲ相比較臨床試験	高瀬 至郎	食道胃腸外科	100,000	補 委 財団法人がん集学的治療研究財団
質量分析計による食道がんに対する抗がん剤治療効果予測因子の固定	奥野 達哉	消化器内科	1,539,000	補 委 独立行政法人科学技術振興機構 JSTイノベーションラボ 大阪
2型糖尿病患者を対象とした血管合併症抑制のための強化療法と従来治療とのランダム化比較試験(J-D01T3)	坂口 一彦	糖尿病・代謝・内分泌内科学、糖尿病・内分泌内科	1,050,000	補 委 財団法人 国際協力医学研究振興財団
20指-1認知症、運動器疾患等の長寿(老年)医療に係るネットワーク等社会基盤構築に関する研究	櫻井 孝	老年内科	1,000,000	補 委 支出負担行為担当 官 国立長寿医療センター
21指-10老年医学的総合機能評価(CGA:comprehensive geriatric assessment)の研究開発及びCGA活用による地域連携の推進のための高齢者医療連携システムの開発	櫻井 孝	老年内科	1,500,000	補 委 支出負担行為担当 官 国立長寿医療センター
救急活動に関する事後検証	石井昇	災害・救急医学、救急部、救命救急科	2,374,050	補 委 神戸市
				補 委

小計
14
計
194

- (注)1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
呼吸と循環	【呼吸器疾患診断の進歩 形態と機能の系統的評価】 MRおよび核医学による機能的画像診断	大野良治, 尾西由美子, 松本敬子, 神山久信, 野上宗伸, 竹中大祐, 杉村和朗	放射線部
J Neuroimaging	Reduced Fractional Anisotropy in Early-Stage Cerebellar Variant of Multiple System Atrophy	Oishi K, Konishi J, Mori S, Ishihara H, Kawamitsu H, Fujii M, Kanda F	放射線部
Eur J Radiol	Integrated FDG-PET/CT vs. standard radiological examinations: Comparison of capability for assessment of postoperative recurrence in non-small cell lung cancer patients	Takenaka D, Ohno Y, Koyama H, Nogami M, Onishi Y, Matsumoto K, Matsumoto S, Yoshikawa T, Sugimura K	放射線部
Eur J Radiol	Co-registered perfusion SPECT/CT: Utility for prediction of improved postoperative outcome in lung volume reduction surgery candidates	Takenaka D, Ohno Y, Koyama H, Nogami M, Onishi Y, Matsumoto K, Yoshikawa T, Matsumoto S, Sugimura K	放射線部
日本臨床	【肝癌 基礎・臨床研究のアップデート】 肝癌の診断 画像診断 磁気共鳴画像(MRI) 3D-MR angiography(MRA)	吉川武, 大野良治, 瀬尾靖	放射線部
Eur J Radiol	Oxygen-enhanced MRI vs. quantitatively assessed thin-section CT: Pulmonary functional loss assessment and clinical stage classification of asthmatics	Ohno Y, Koyama H, Matsumoto K, Onishi Y, Nogami M, Takenaka D, Matsumoto S, Sugimura K	放射線部
J Magn Reson Imaging	Detection of bone metastases in non-small cell lung cancer patients: comparison of whole-body diffusion-weighted imaging (DWI), whole-body MR imaging without and with DWI, whole-body FDG-PET/CT, and bone scintigraphy	Takenaka D, Ohno Y, Matsumoto K, Aoyama N, Onishi Y, Koyama H, Nogami M, Yoshikawa T, Matsumoto S, Sugimura K	放射線部
Eur J Radiol	State-of-the-art radiological techniques improve the assessment of postoperative lung function in patients with non-small cell lung cancer	Ohno Y, Koyama H, Nogami M, Takenaka D, Onishi Y, Matsumoto K, Matsumoto S, Maniwa Y, Yoshimura M, Nishimura Y, Sugimura K	放射線部
臨床画像	【肺血流をみる 肺高血圧症の画像診断】 MDCTによる肺血流評価	神山久信, 大野良治, 尾西由美子, 松本敬子, 野上宗伸, 竹中大祐, 杉村和朗	放射線部
臨床画像	【肺血流をみる 肺高血圧症の画像診断】 非造影および造影MRIによる肺血流評価	鮎川雄一郎, 村山貞之, 大野良治	放射線部
INNERVISION	次世代の画像解析ソフトウェア Image Analysis Software-Next Advances 気道解析ソフトによる慢性閉塞性肺疾患(Chronic Obstructive Pulmonary Disease)のCT評価 新たなCOPD治療におけるバイオマーカーとしての可能性	大野良治, 尾西由美子, 松本敬子, 神山久信, 竹中大祐, 杉村和朗	放射線部
J Magn Reson Imaging	Utility of phase contrast MR imaging for assessment of pulmonary flow and pressure estimation in patients with pulmonary hypertension: comparison with right heart catheterization and echocardiography	Nogami M, Ohno Y, Koyama H, Kono A, Takenaka D, Kataoka T, Kawai H, Kawamitsu H, Onishi Y, Matsumoto K, Matsumoto S, Sugimura K	放射線部
日本輸血細胞治療学会誌	免疫グロブリン大量点滴静注療法(IVIg)の関与が考えられる脳血管障害例	杉本健, 西郷勝康, 中澤隆, 辻剛, 豆原彰, 三崎健太, 並木充夫, 林宏樹, 橋本誠, 櫻井孝介, 熊谷俊一	輸血部
Dig Endosc	The new resources of treatment for early stage colorectal tumors: EMR with small incision and simplified endoscopic submucosal dissection	Toyonaga T, Man-I M, Morita Y, Sanuki T, Yoshida M, Kutsumi H, Inokuchi H, Azuma T	光学医療診療部
Gastroenterological Endoscopy	手技の解説 大腸ESDのコツ	豊永高史, 森田圭紀, 東健	光学医療診療部

小計

15

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
消化器内視鏡	【どうする大腸腫瘍】大腸ESDの実際 大腸ESDの進歩 安全性を考慮した最新テクニック	田中敏雄, 森田圭紀, 豊永高史, 東健	光学医療診療部
Food Chem	In vitro and in vivo antioxidant properties of ferulic acid :A comparative study with other natural oxidation inhibitors	S Itagaki, T Kurokawa, C Nakata, Y Saito, M Kobayashi, T Hirano, K Iseki	薬剤部
医療薬学	がん化学療法に伴う口内炎の予防・改善に有効な抗酸化物質の探索	鷹野瑠美, 平野剛, 中田千絵, 笠師久美子, 菅原満, 小林正紀, 板垣史郎, 井関健	薬剤部
Biochim Biophys Acta	Contribution of organic anion transporting polypeptide OATP2B1 to amiodarone accumulation in lung epithelial cells	Seki S, Kobayashi M, Itagaki S, Hirano T, Iseki K	薬剤部
Eur J Pharm Sci	Effects of acid and lactone forms of 3-hydroxy-3-methylglutaryl coenzyme A reductase inhibitors on the induction of MDR1 expression and function in LS180 cells	Yamasaki D, Nakamura T, Okamura N, Kokudai M, Inui N, Takeuchi K, Watanabe H, Hirai M, Okumura K, Sakaeda T	薬剤部
Mol Biol Rep	Response of the ABCG2 promoter in T47D cells and BeWo cells to sex hormone treatment	Yasuda S, Kobayashi M, Itagaki S, Hirano T, Iseki K	薬剤部
Biochim Biophys Acta	Liver X receptor regulates expression of MRP2 but not that of MDR1 and BCRP in the liver	Chisaki I, Kobayashi M, Itagaki S, Hirano T, Iseki K	薬剤部
医療薬学	現役薬剤師参加の服薬指導実習の実施とその教育効果に関する調査	松田裕子, 沼田千賀子, 中尾幸代, 道上敬, 長野恭久, 山中智香, 明田健史, 谷口美保子, 水谷宏恵, 木口敏子, 八木敬子, 江本憲昭, 平井みどり	薬剤部
Placenta	Expression and role of SNAT3 in the placenta	Yoshioka C, Yasuda S, Kimura F, Kobayashi M, Itagaki S, Hirano T, Iseki K	薬剤部
Ann Oncol	Association between gain-of-function mutations in PIK3CA and resistance to HER2-targeted agents in HER2-amplified breast cancer cell lines	Kataoka Y, Mukohara T, Shimada H, Saijo N, Hirai M, Minami H	薬剤部
J Gastroenterol	Newly developed surface coil for endoluminal MRI, depiction of pig gastric wall layers and vascular architecture in ex vivo study	Morita Y, Kutsumi H, Yoshinaka H, Matsuoka Y, Kuroda K, Gotanda M, Sekino N, Kumamoto E, Yoshida M, Inokuchi H, Azuma T	消化器内科
日本臨床	【肝癌 基礎・臨床研究のアップデート】肝癌の診断 画像診断 磁気共鳴画像(MRI) 3D-MR angiography (MRA)	吉川武, 大野良治, 瀬尾靖	消化器内科
Dig Endosc	The new resources of treatment for early stage colorectal tumors: EMR with small incision and simplified endoscopic submucosal dissection	Toyonaga T, Man-I M, Morita Y, Sanuki T, Yoshida M, Kutsumi H, Inokuchi H, Azuma T	消化器内科
Gastroenterological Endoscopy	手技の解説 大腸ESDのコツ	豊永高史, 森田圭紀, 東健	消化器内科
消化器内視鏡	【どうする大腸腫瘍】大腸ESDの実際 大腸ESDの進歩 安全性を考慮した最新テクニック	田中敏雄, 森田圭紀, 豊永高史, 東健	消化器内科

小計 累計

15 30

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本内視鏡外科学会雑誌	鏡視下肝切除・NOTESを支援するGPS navigationの開発	杉本真樹, 黒田輝, 松岡雄一郎, 熊本悦子, 森田圭紀, 吉中勇人, 久津見弘, 東健	消化器内科
日本内視鏡外科学会雑誌	NOTES Single incision NOTESによる内視鏡的胃全層切除縫合術・胆嚢摘出術	杉本真樹, 森田圭紀, 松岡雄一郎, 吉中勇人, 吉田志栄, 藤原昌子, 万井万里子, 佐貫毅, 久津見弘, 黒田輝, 東健	消化器内科
Infect Immun	IFN- γ produced by antigen-specific CD4 T cells regulates the mucosal immune responses to <i>Citrobacter rodentium</i> infection	Shiomi H, Masuda A, Nishiumi S, Nishida M, Takagawa T, Shiomi Y, Kutsumi H, Blumberg RS, Azuma T, Yoshida M	消化器内科
Circ J	Plasma tetrahydrobiopterin/dihydrobiopterin ratio: a possible marker of endothelial dysfunction	Takeda M, Yamashita T, Shinohara M, Sasaki M, Takaya T, Nakajima K, Inoue N, Masano T, Tawa H, Satomi-Kobayashi S, Toh R, Sugiyama D, Nishimura K, Yokoyama M, Hirata KI, Kawashima S	循環器内科
Cardiovasc Res	Pitavastatin decreases the expression of endothelial lipase both in vitro and in vivo	Kojima Y, Ishida T, Sun L, Yasuda T, Toh R, Rikitake Y, Fukuda A, Kume N, Koshiyama H, Taniguchi A, Hirata KI	循環器内科
J Neuroimaging	Reduced Fractional Anisotropy in Early-Stage Cerebellar Variant of Multiple System Atrophy	Oishi K, Konishi J, Mori S, Ishihara H, Kawamitsu H, Fujii M, Kanda F	神経内科
Nat Genet	Genome-wide association study identifies common variants at four loci as genetic risk factors for Parkinson's disease	Satake M, Nakabayashi Y, Mizuta I, Hirota Y, Ito C, Kubo M, Kawaguchi T, Tsunoda I, Watanabe M, Takeda A, Tomiyama H, Nakashima K, Hasegawa K, Ohta F, Yoshikawa T, Kawakami H, Sakoda S, Yamamoto M, Hattori N, Murata M, Nakamura Y, Toda T	神経内科
日本輸血細胞治療学会誌	免疫グロブリン大量点滴静注療法(IVIg)の関与が考えられる脳血管障害例	杉本健, 西郷勝康, 中澤隆, 辻剛, 豆原彰, 三崎健太, 並木充夫, 林宏樹, 橋本誠, 櫻井孝介, 熊谷俊一	免疫内科
Ann Rheum Dis	Impact of smoking as a risk factor for developing rheumatoid arthritis: a meta-analysis of observational studies	Sugiyama D, Nishimura K, Tamaki K, Tsuji G, Nakazawa T, Morinobu A, Kumagai S	免疫内科
J Plast Reconstr Aesthet Surg	Haemodynamic changes in the fingers after free radial forearm flap transfer: a prospective study using SPP	Yanagisawa A, Hashikawa K, Sugiyama D, Makiguchi T, Yanagi H, Kumagai S, Yokoo S, Terashi H, Tahara S	免疫内科
Biochem Biophys Res Commun	Identification and characterization of an alternative promoter of the human PGC-1 α gene	Yoshioka T, Inagaki K, Noguchi T, Sakai M, Ogawa W, Hosooka T, Iguchi H, Watanabe E, Matsuki Y, Hiramatsu R, Kasuga M	糖尿病・内分泌内科
Endocrinology	Muscle-specific overexpression of heparin-binding epidermal growth factor-like growth factor increases peripheral glucose disposal and insulin sensitivity	Fukatsu Y, Noguchi T, Hosooka T, Ogura T, Kotani K, Abe T, Shibakusa T, Inoue K, Sakai M, Tobinatsu K, Inagaki K, Yoshioka T, Matsuo M, Nakae J, Matsuki Y, Hiramatsu R, Kaku K, Okamura H, Fushiki T, Kasuga M	糖尿病・内分泌内科
J Clin Invest	Ablation of C/EBP β alleviates ER stress and pancreatic beta cell failure through the GRP78 chaperone in mice	Matsuda T, Kido Y, Asahara S, Kaisho T, Tanaka T, Hashimoto N, Shigezawa Y, Takeda A, Inoue T, Shibutani Y, Koyanagi M, Hosooka T, Matsumoto M, Inoue H, Uchida T, Koike M, Uchiyama Y, Akira S, Kasuga M	糖尿病・内分泌内科
Transplant Proc	Extended mycophenolate mofetil administration beyond day 30 in allogeneic hematopoietic stem cell transplantation as preemptive therapy for severe graft-versus-host disease	Nishikawa S, Okamura A, Yamamori M, Minagawa K, Kawamori Y, Kawano Y, Kawano H, Ono K, Katayama Y, Shimoyama M, Matsui T	腫瘍・血液内科
Ann Oncol	Possible alternative strategy for stage I imatinib-sensitive testicular seminoma: lessons from a case associated with Philadelphia chromosome-positive acute lymphoblastic leukemia	Okamura A, Wakahashi K, Ishii S, Katayama Y, Yamamoto K, Matsui T	腫瘍・血液内科

小計 累計

15 45

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Leuk Res	Two further cases of myelodysplastic syndrome and acute myeloid leukemia with der(5;19)(p10;q10): association with abnormalities involving chromosomes 12 and 21	Yamamoto K, Wakahashi K, Okamura A, Katayama Y, Shimoyama M, Matsui T	腫瘍・血液内科
Int J Hematol	Progressive osteosclerosis and visceral calcification after cord blood transplantation	Asada N, Ishii S, Wakahashi K, Kawano H, Kawamori Y, Nishikawa S, Minagawa K, Okamura A, Shimoyama M, Katayama Y, Hayashi Y, Itoh T, Tanimoto M, Matsui T	腫瘍・血液内科
Bone Marrow Transplant	Delayed neutrophil engraftment in cord blood transplantation with intensive administration of mycophenolate mofetil for GVHD prophylaxis	Okamura A, Shimoyama M, Ishii S, Wakahashi K, Asada N, Kawano H, Kawamori Y, Nishikawa S, Minagawa K, Katayama Y, Matsui T	腫瘍・血液内科
EBM 血液疾患の治療 2010-2011	慢性好酸球性白血病に対する治療は？	定明子, 松井利充	血液内科
血液・腫瘍科	【イマチニブと新規チロシンキナーゼ阻害剤】イマチニブによる慢性好酸球性白血病の治療	定明子, 松井利充	血液内科
血液フロンティア	【慢性骨髄増殖性疾患】 腫瘍性好酸球増多症	松井利充, 定明子	血液内科
Transplant Proc	Extended mycophenolate mofetil administration beyond day 30 in allogeneic hematopoietic stem cell transplantation as preemptive therapy for severe graft-versus-host disease	Nishikawa S, Okamura A, Yamamori M, Minagawa K, Kawamori Y, Kawano Y, Kawano H, Ono K, Katayama Y, Shimoyama M, Matsui T	血液内科
Cell Cycle	Pathogenesis of rheumatoid arthritis and c-Fos/AP-1	Shiozawa S, Tsumiyama K	リウマチ科
リウマチ病セミナーXX	関節破壊と転写因子c-Fos/AP阻害剤	塩沢俊一	リウマチ科
PLoS One	Self-organized criticality theory of autoimmunity	Tsumiyama K, Miyazaki Y, Shiozawa S	リウマチ科
小児科	【小児疾患における臨床遺伝学の進歩】 遺伝子診断がもたらす治療の進歩 Duchenne型筋ジストロフィー	松尾雅文, 竹島泰弘, 八木麻理子	小児科
Genet Test Mol Biomarkers	Small mutations detected by multiplex ligation-dependent probe amplification of the dystrophin gene	Okizuka Y, Takeshima Y, Awano H, Zhang Z, Yagi M, Matsuo M	小児科
BRAIN and NERVE: 神経研究の進歩	【神経・筋疾患の分子標的治療】 筋ジストロフィーの分子標的療法	松尾雅文, 竹島泰弘	小児科
J Med Genet	In vitro splicing analysis showed that availability of a cryptic splice site is not a determinant for alternative splicing patterns caused by +1G→A mutations in introns of the dystrophin gene	Habara Y, Takeshima Y, Awano H, Okizuka Y, Zhang Z, Saiki K, Yagi M, Matsuo M	小児科
J Hum Genet	Insertion of the IL1RAPL1 gene into the duplication junction of the dystrophin gene	Zhang Z, Yagi M, Okizuka Y, Awano H, Takeshima Y, Matsuo M	小児科

小計 累計

15 60

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Pediatr Nephrol	Detection by multiplex ligation-dependent probe amplification of large deletion mutations in the COL4A5 gene in female patients with Alport syndrome	Nozu K, Krol RP, Nakanishi K, Yoshikawa N, Nozu Y, Ohtsuka Y, Iijima K, Matsuo M	小児科
Pediatr Int	Two Japanese infants with congenital generalized lipodystrophy due to BSCL2 mutations	Nishiyama A, Yagi M, Awano H, Okizuka Y, Maeda T, Yoshida S, Takeshima Y, Matsuo M	小児科
呼吸と循環	【呼吸器疾患診断の進歩 形態と機能の系統的評価】 MRおよび核医学による機能的画像診断	大野良治, 尾西由美子, 松本敬子, 神山久信, 野上宗伸, 竹中大祐, 杉村和朗	放射線科
Radiat Med	Computer-aided detection of lung nodules on multidetector row computed tomography using three-dimensional analysis of nodule candidates and their surroundings	Matsumoto S, Ohno Y, Yamagata H, Takenaka D, Sugimura K	放射線科
Eur J Radiol	Integrated FDG-PET/CT vs. standard radiological examinations: Comparison of capability for assessment of postoperative recurrence in non-small cell lung cancer patients	Takenaka D, Ohno Y, Koyama H, Nogami M, Onishi Y, Matsumoto K, Matsumoto S, Yoshikawa T, Sugimura K	放射線科
日本臨床	【肝癌 基礎・臨床研究のアップデート】 肝癌の診断 画像診断 磁気共鳴画像(MRI) 3D-MR angiography(MRA)	吉川武, 大野良治, 瀬尾靖	放射線科
Eur J Radiol	Oxygen-enhanced MRI vs. quantitatively assessed thin-section CT: Pulmonary functional loss assessment and clinical stage classification of asthmatics	Ohno Y, Koyama H, Matsumoto K, Onishi Y, Nogami M, Takenaka D, Matsumoto S, Sugimura K	放射線科
J Magn Reson Imaging	Detection of bone metastases in non-small cell lung cancer patients: comparison of whole-body diffusion-weighted imaging (DWI), whole-body MR imaging without and with DWI, whole-body FDG-PET/CT, and bone scintigraphy	Takenaka D, Ohno Y, Matsumoto K, Aoyama N, Onishi Y, Koyama H, Nogami M, Yoshikawa T, Matsumoto S, Sugimura K	放射線科
Eur J Radiol	State-of-the-art radiological techniques improve the assessment of postoperative lung function in patients with non-small cell lung cancer	Ohno Y, Koyama H, Nogami M, Takenaka D, Onishi Y, Matsumoto K, Matsumoto S, Maniwa Y, Yoshimura M, Nishimura Y, Sugimura K	放射線科
臨床画像	【肺血流をみる 肺高血圧症の画像診断】 MDCTによる肺血流評価	神山久信, 大野良治, 尾西由美子, 松本敬子, 野上宗伸, 竹中大祐, 杉村和朗	放射線科
INNERVISION	次世代の画像解析ソフトウェア Image Analysis Software-Next Advances 気道解析ソフトによる慢性閉塞性肺疾患(Chronic Obstructive Pulmonary Disease)のCT評価 新たなCOPD治療におけるバイオマーカーとしての可能性	大野良治, 尾西由美子, 松本敬子, 神山久信, 竹中大祐, 杉村和朗	放射線科
J Magn Reson Imaging	Utility of phase contrast MR imaging for assessment of pulmonary flow and pressure estimation in patients with pulmonary hypertension: comparison with right heart catheterization and echocardiography	Nogami M, Ohno Y, Koyama H, Kono A, Takenaka D, Kataoka T, Kawai H, Kawamitsu H, Onishi Y, Matsumoto K, Matsumoto S, Sugimura K	放射線科
Acad Radiol	Quantitative and qualitative assessments of lung destruction and pulmonary functional loss from reduced-dose thin-section CT in pulmonary emphysema patients	Koyama H, Ohno Y, Yamazaki Y, Nogami M, Murase K, Onishi Y, Matsumoto K, Takenaka D, Sugimura K	放射線科
Int J Radiat Oncol Biol Phys	Brain injury after proton therapy or carbon ion therapy for head-and-neck cancer and skull base tumors	Miyawaki D, Murakami M, Demizu Y, Sasaki R, Niwa Y, Terashima K, Nishimura H, Hishikawa Y, Sugimura K	放射線腫瘍科
Int J Radiat Oncol Biol Phys	Physiologic reactions after proton beam therapy in patients with prostate cancer: significance of urinary autoactivation	Shimizu M, Sasaki R, Miyawaki D, Nishimura H, Demizu Y, Akagi T, Suga D, Sakamoto H, Murakami M, Sugimura K, Hishikawa Y	放射線腫瘍科

小計 累計

15 75

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Int J Radiat Oncol Biol Phys	Analysis of Vision loss caused by radiation-induced optic neuropathy after particle therapy for head-and-neck and skull-base tumors adjacent to optic nerves	Demizu Y, Murakami M, Miyawaki D, Niwa Y, Akagi T, Sasaki R, Terashima K, Suga D, Kamae I, Hishikawa Y	放射線腫瘍科
厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業神経皮膚症候群に関する調査研究平成20年度総括・分担研究報告書	色素性乾皮症の現状把握：患者とその解析の調査研究	錦織千佳子	皮膚科
Antioxid Redox Signal	Thioredoxin Suppresses the Contact Hypersensitivity Response by Inhibiting Leukocyte Recruitment during the Elicitation Phase	Fukunaga A, Horikawa T, Ogura K, Taguchi K, Xijun Y, Funasaka Y, Takeda M, Nakamura H, Yodoi J, Nishigori C	皮膚科
からだの科学	【皮膚の病気のすべて】 皮膚の異常と病気 色素性乾皮症	錦織千佳子	皮膚科
日本皮膚科学会雑誌	当院で過去5年間に経験した乳房外Paget病患者的統計とセンチネルリンパ節生検適応症例の検討	神吉晴久, 池田哲哉, 高井利浩, 加茂統良, 長野徹, 錦織千佳子	皮膚科
手術	経皮的肝灌流化学療法にてCRとなった肝移植後両葉多発肝細胞癌の1例	木下秘我, 尾形哲, 具英成	肝胆膵外科
日本アフェシス学会雑誌	進行肝細胞癌に対する経皮的肝灌流化学療法	千堂宏義, 福本巧, 村松三四郎, 楠信也, 木戸正浩, 武部敦志, 木下秘我, 小松昇平, 具英成	肝胆膵外科
手術	【肝胆膵手術 出血を減らし合併症を起こさないコツ】 高度脈管侵襲を伴う進行肝癌に対する肝切除	福本巧, 楠信也, 木戸正浩, 千堂義宏, 高橋応典, 具英成	肝胆膵外科
肝・胆・膵	【肝胆膵:難治がんに挑む-分子標的治療時代の到来】 肝臓分野:高度進行肝細胞がんに対する外科的アプローチ 高度進行肝細胞癌に対する肝灌流化学療法併用肝切除	福本巧, 富永正寛, 具英成	肝胆膵外科
日本消化器外科学会雑誌	下大静脈腫瘍栓を伴った切除不能大腸癌肝転移に対してスベーター留置術および陽子線照射による2段階治療が奏効した1例	小松昇平, 福本巧, 堀裕一, 村上昌雄, 菱川良夫, 具英成	肝胆膵外科
消化器外科	【肝胆膵悪性腫瘍手術における血行再建】 肝細胞癌に対する門脈切除・再建 門脈腫瘍栓の病態と治療選択	武部敦志, 福本巧, 木戸正浩, 楠信也, 岩崎武, 富永正寛, 具英成	肝胆膵外科
外科	【門脈と脾臓のup date】 門脈 門脈圧亢進症合併肝癌の治療	福本巧, 富永正寛, 具英成	肝胆膵外科
J Surg Oncol	Particle beam radiotherapy with a surgical spacer placement for advanced abdominal leiomyosarcoma results in a significant clinical benefit	Fukumoto T, Komatsu S, Hori Y, Murakami M, Hishikawa Y, Ku Y	肝胆膵外科
Oncol Rep	Expression and localization of FOXD1 in non-small cell lung cancer	Maekawa T, Maniwa Y, Doi T, Nishio W, Yoshimura M, Ohbayashi C, Hayashi Y, Okita Y	呼吸器外科
Eur J Radiol	State-of-the-art radiological techniques improve the assessment of postoperative lung function in patients with non-small cell lung cancer	Ohno Y, Koyama H, Nogami M, Takenaka D, Onishi Y, Matsumoto K, Matsumoto S, Maniwa Y, Yoshimura M, Nishimura Y, Sugimura K	呼吸器外科

小計 累計
15 90

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
ONCOLOGY LETTERS	Chemosensitivity of Lung Cancer: Differences between Primary Tumor and Lymph Node Metastasis	Maniwa Y, Yoshimura M, Hashimoto S, Takata M, Nishio W	呼吸器外科
Cancer	Nonsynonymous single nucleotide polymorphisms in DNA damage repair pathways and lung cancer risk	Tanaka Y, Maniwa Y, Bermudez VP, Doi T, Nishio W, Ohbayashi C, Okita Y, Hurwitz J, Hayashi Y, Yoshimura M	呼吸器外科
Cancer Sci	Overexpression of Necl-5 correlates with unfavorable prognosis in patients with lung adenocarcinoma	Nakai R, Maniwa Y, Tanaka Y, Nishio W, Yoshimura M, Okita Y, Ohbayashi C, Satoh N, Ogita H, Takai Y, Hayashi Y	呼吸器外科
J Epidemiol	4G/5G variant of plasminogen activator inhibitor-1 gene and severe pregnancy-induced hypertension: subgroup analyses of variants of angiotensinogen and endothelial nitric oxide synthase	Kobashi G, Ohta K, Yamada H, Hata A, Minakami H, Sakuragi N, Tamashiro H, Fujimoto S: Hokkaido Perinatal Epidemiology Study Group	産科婦人科
Congenit Anom (Kyoto)	Specific ultrasound findings associated with fetal chromosome abnormalities	Shimada S, Yamada H, Hoshi N, Kobashi G, Okuyama K, Hanatani K, Fujimoto S	産科婦人科
Am J Reprod Immunol	A high dose of intravenous immunoglobulin increases CD94 expression on natural killer cells in women with recurrent spontaneous abortion	Shimada S, Takeda M, Nishihira J, Kaneuchi M, Sakuragi N, Minakami H, Yamada H	産科婦人科
Prostate Cancer Prostatic Dis	The relationship between the reproducibility of holmium laser enucleation of the prostate and prostate size over the learning curve	Haraguchi T, Takenaka A, Yamazaki T, Nakano Y, Miyake H, Tanaka K, Kuwayama M, Takechi Y, Fujisawa M	泌尿器科
J Endourol	Influence of nerve-sparing procedure on early recovery of urinary continence after laparoscopic radical prostatectomy	Takenaka A, Soga H, Sakai I, Nakano Y, Miyake H, Tanaka K, Fujisawa M	泌尿器科
日本コンピュータ外科学会誌	脳自重変形解析時間短縮のための有限要素モデルの開発	東洋平, 安達和彦, 長谷川悠, 藤田敦史, 甲村英二, 神吉博	脳神経外科
脳神経外科ジャーナル	外傷後脊椎変形を伴った高度肥満患者へのバクロフェン髄腔内投与治療の工夫	水川克, 千葉義幸, 荒井篤, 近藤威, 甲村英二	脳神経外科
Int J Cancer	MicroRNA-10b is overexpressed in malignant glioma and associated with tumor invasive factors, uPAR and RhoC	Sasayama T, Nishihara M, Kondoh T, Hosoda K, Kohmura E	脳神経外科
脳神経外科エキスパート 頭蓋底	傍鞍部髄膜腫	甲村英二	脳神経外科
日本コンピュータ外科学会誌	力覚提示装置を用いた脳外科手術トレーニングシステム開発のための基礎研究	長谷川悠, 安達和彦, 東洋平, 藤田敦史, 甲村英二	脳神経外科
J Arthroplasty	Soft tissue balance measurement in posterior-stabilized total knee arthroplasty with a navigation system	Matsumoto T, Muratsu H, Tsumura N, Mizuno K, Kurosaka M, Kuroda R	整形外科
臨床スポーツ医学	【アスリートの前十字靭帯損傷 再建術後のリハビリテーション最前線】 膝前十字靭帯のバイオメカニクス 三次元電磁気計測システムを用いた Pivot shift testの解析	黒田良祐, 久保晴司, 星野祐一, 西本浩司, 荒木大輔, 黒坂昌弘	整形外科

累計
小計 15 105

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門	
Kobe J Med Sci	Analysis of 472 Branemark system TiUnite implants: A retrospective study	Shibuya Y, Kobayashi M, Takeuchi J, Asai T, Murata M, Umeda M, Komori T	歯科口腔外科	小計 1
				計 106

(注)1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること。(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 杉村和朗				
管理担当者氏名	薬剤部長	平井みどり	総務課長	菅原秀倫	
	管理課長	西谷龍三	学務課長	上田宏	
	医事課長	足立久司			

		保管場所	管理方法	
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		診療録センター (エックス線写真 →各診療科、処方せん→薬剤部、病院日誌→総務課)	病歴資料については診療録センターで集中管理を行い、エックス線写真、処方せん、病院日誌は当該担当部署において、保管している。	
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務課		
	高度の医療の実績	医事課		
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	学務課		
	高度の医療の研修の実績	総務課		
	閲覧実績	総務課		
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事課		
	入院患者数、外来患者数及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課 薬剤部		
	項規 第一 第一 号に 掲げ る十 一第 一制 の項 各号 の状 況及 び第 九条 の二 十三 第一	医療に係る安全管理のための指針の整備状況		医事課
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況		医事課
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況		医事課
医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況		医事課		
専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況		医事課		
専任の院内感染対策を行う者の配置状況		医事課		
医療に係る安全管理を行う部門の設置状況		医事課		
当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況		医事課		

(様式第12)

		保 管 場 所	管 理 方 法
病 院 及 び 諸 記 録 運 営 管 理 運 営 記 録	規 則 第 一 条 の 十 一 第 一 項 各 号 及 び 第 九 条 の 二 十 三 第 一 項 第 一 号 に 掲 げ る 体 制 の 確 保 の 状 況	院 内 感 染 対 策 の た め の 指 針 の 策 定 状 況	医 事 課
		院 内 感 染 対 策 の た め の 委 員 会 の 開 催 状 況	医 事 課
		従 業 者 に 対 す る 院 内 感 染 対 策 の た め の 研 修 の 実 施 状 況	医 事 課
		感 染 症 の 発 生 状 況 の 報 告 そ の 他 の 院 内 感 染 対 策 の 推 進 を 目 的 と し た 改 善 の た め の 方 策 の 実 施 状 況	医 事 課
		医 薬 品 の 使 用 に 係 る 安 全 な 管 理 の た め の 責 任 者 の 配 置 状 況	医 事 課 薬 剤 部
		従 業 者 に 対 す る 医 薬 品 の 安 全 使 用 の た め の 研 修 の 実 施 状 況	医 事 課 薬 剤 部
		医 薬 品 の 安 全 使 用 の た め の 業 務 に 関 す る 手 順 書 の 作 成 及 び 当 該 手 順 書 に 基 づ く 業 務 の 実 施 状 況	医 事 課 薬 剤 部
		医 薬 品 の 安 全 使 用 の た め に 必 要 と な る 情 報 の 収 集 そ の 他 の 医 薬 品 の 安 全 使 用 を 目 的 と し た 改 善 の た め の 方 策 の 実 施 状 況	医 事 課 薬 剤 部
		医 療 機 器 の 安 全 使 用 の た め の 責 任 者 の 配 置 状 況	管 理 課
		従 業 者 に 対 す る 医 療 機 器 の 安 全 使 用 の た め の 研 修 の 実 施 状 況	管 理 課
		医 療 機 器 の 保 守 点 検 に 関 す る 計 画 の 策 定 及 び 保 守 点 検 の 実 施 状 況	管 理 課
		医 療 機 器 の 安 全 使 用 の た め に 必 要 と な る 情 報 の 収 集 そ の 他 の 医 療 機 器 の 安 全 使 用 を 目 的 と し た 改 善 の た め の 方 策 の 実 施 状 況	管 理 課

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び
紹介患者に対する医療提供の実績

○ 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院長 杉村 和朗
閲覧担当者氏名	薬剤部長 平井 みどり 総務課長 菅原 秀倫 管理課長 西谷 龍三 学務課長 上田 宏 医事課長 足立 久司
閲覧の求めに応じる場所	応接室

○ 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0件
閲覧者別	医師	延 0件
	歯科医師	延 0件
	国	延 0件
	地方公共団体	延 0件

○ 紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	75.4 %	算定期間	平成21年 4月 1日 ~ 平成22年 3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数	16,088人	
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	17,108人	
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	1,781人	
	D: 初診の患者の数	29,257人	

(注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

規則第1条の11第1項各号及び第9条の23第1項各号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	○有 ・ 無
・ 指針の主な内容： 別紙のとおり	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 12 回
・ 活動の主な内容： 別紙のとおり	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 14 回
・ 研修の主な内容： 別紙のとおり	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
・ 医療機関内における事故報告等の整備 (○有 ・ 無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 別紙のとおり	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	○有 (3 名) ・ 無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	○有 (10 名) ・ 無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	○有 ・ 無
・ 所属職員： 専任(3)名 兼任(17)名 ・ 活動の主な内容： (1) インシデント審議依頼やヒヤリ・ハット事例に関する情報の収集 (2) 収集された情報とその分析に基づき、病院内で具体的な対策の企画、実施 (3) 医療現場への的確な情報の提供 (4) 医療安全管理マニュアルの作成 (5) 医療事故防止の教育・学習の展開等の任務を (6) 医療相談の報告に基づく指導	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に対応される体制の確保状況	○有 ・ 無

① 指針の主な内容：

(1) 医療機関における安全管理に関する基本的考え方

大学病院は一方では高度の医療を提供する使命を持ち、また、医療経済の上からも効率的な運用が求められているが、それにもまして患者の安全を第一に、一貫して患者の視点に立つ医療を心がける。また、事故を誘発しない環境や、未然に防ぐことのできるシステムを組織全体として構築することが必要である。そのための取り組みとして、①医療安全管理マニュアルの作成②教育・学習活動の展開③医療事故、ヒヤリ・ハット報告システムの確立④常設委員会の設置を位置づけている。

(2) 医療に係る安全管理のための委員会その他医療機関内の組織に関する基本的事項

病院全体のレベルと各部門レベルのそれぞれで体制を確立するとともに、両者の連絡を図り、病院としての一元的な体制を整備することが重要である。本院では、中枢機関として「医療安全管理委員会」および「患者安全部門会議」が設置されている。また、各部署に「質・安全マネジャー」が任命・配置されている。

(3) 医療に係る安全管理のための職員研修に関する基本方針

以下のような講習を毎年行う。①医療安全管理に関する職員必修講習会（年2回以上）②研修医、看護師、技官に対する採用時研修③医学部学生に対する医療安全管理に関する卒前教育④その他、医療安全に関連する講習会（輸血、感染対策等適宜）

(4) 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針

医療事故が起こった場合、直ちにセーフティマネジャーに連絡し、さらに24時間以内に必ずインシデント審議依頼書を提出する。

ヒヤリ・ハット報告に関しては、平成13年2月からオンライン入力システムが整備されデータベース化された。このデータベースを活用することによりヒヤリ・ハット内容の収集・分析を行い、事故に進展するのを未然に防ぐ方策を作成し、そのための訓練の実施や医療システムの見直しに役立てている。さらに平成22年7月から新たなヒヤリ・ハット報告システムを導入したことにより、情報を共有化、データを多角的に統計分析できるようになり、再発防止の方策が的確に立てられるようになった。

(5) 医療事故等発生時の対応に関する基本方針

事故発生時の対応は、①直ちに医師、看護師等の連携の下に救急処置や医療上の最善の処置をとる。②医療事故が起こった場合、直ちにセーフティマネジャーに連絡し、さらに24時間以内に必ずインシデント審議依頼書を提出する。③患者に対して誠心誠意治療に専念するとともに、患者及び家族に対しては、誠意をもって事故等の説明を行う。④患者の状況、処置の方法・患者及び家族への説明内容を、診療録、看護記録等に詳細に記載する。本院に過失があると判断した場合（可能性も含む）は、速やかに医療事故調査委員会を設置し、事故原因を調査究明し、再発

防止に万全の処置を講じる。

(6) 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針

原則的に患者さん、あるいは外部からの閲覧の求めに応じる方針である。また、院内患者情報コーナーにもマニュアルを置き、閲覧できるようにする。

(7) その他医療安全の推進のために必要な基本方針

ダブルチェックの励行を行う。

(8) 内規

- ・ 神戸大学医学部附属病院における医療に係る安全管理要項
- ・ 神戸大学医学部附属病院医療安全管理委員会内規
- ・ 神戸大学医学部附属病院医療の質・安全管理部内規
- ・ 神戸大学医学部附属病院質・安全マネジャー連絡会議内規
- ・ 神戸大学医学部附属病院緊急問題検討会議内規
- ・ 患者相談窓口取扱要領

② 活動の主な内容：

- (1) 医療安全管理委員会の資料の作成、議事要旨の作成及び保存を行っている。
- (2) インシデントの発生時、医療事故かヒヤリ・ハットに該当するかを分析し、事故等であれば、緊急問題検討会議を開催する。緊急問題検討委員会で、事故当事者より診療録に基づき報告を行うよう指導し、併せて診療録、看護記録の確認も行っている。
- (3) インシデント審議依頼書に、患者・家族への対応状況について記入する欄を設けている。記入漏れや詳細内容については、医療の質・安全管理部で確認・指導を行っている。
- (4) 緊急問題検討会議で、病院長を始め事務部長や看護部長等より事故当事者・直属の上司へ原因究明の調査を行っている。また、是正処置実施計画書・報告書により事故防止策の提出を発生部署へ依頼している。議事要旨を医療安全管理委員会で報告している。
- (5) 各部署に質・安全マネジャーが任命・配置されている。必要に応じ質・安全マネジャー連絡会議を開催し、各質・安全マネジャーに事例等を報告している。新任の質・安全マネジャーには、研修を行っている。
また、毎月刊行の附属病院広報誌に、リスクマネジメントニュースを掲載し医療安全に関する情報を公開している。
- (6) 医療安全管理マニュアルを作成し、全部署に配付し、医療事故の防止を図っている。また、職員全員に医療スタッフポケットマニュアルを配付し説明を行っている。さらに、医療情報端末から医療安全管理マニュアルがダウンロードできる。また、年2回医療事故特別防止月間を設け実施している。内容は、事故防止のポスターの掲示、医療事故防止のための職員必修講習の開催、医療の質・安全管理部から各質・安全マネジャーへ点検項目を依頼し実施している。

③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況

- ・研修の主な内容
- ・平成22年7～8月医療の質・安全管理部、感染制御部が合同で医療安全に関する職員必修講習Ⅰ（前期）を7回開催、出席率の向上に努めた。11月に欠席者、中途採用者を対象に追加講習を行う予定。
- ・平成23年1～2月に、医療安全に関する職員必修講習Ⅱ（後期）を7回開催予定。中途採用者も出席させる。
- ・Basic Life Support と自動体外式除細動器の講習会の実施
平成16年6月より Basic Life Support と自動体外式除細動器の講習会を実施し、本年も継続し行っている。看護師、医師その他医療従事者に対し人工呼吸、胸骨圧迫、除細動の実習を月2回開催している。なお、平成18年8月よりガイドライン 2005 に対応した講習内容に改めた。
- ・新規採用職員合同研修を4月当初に開催し、医療安全に関する講習を行っている。

④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況

・医療機関内における事故報告等の整備

イ. ①の(4)の回答と同じ

・その他の改善のための方策の主な内容

イ. 医療スタッフポケットマニュアルの配付

平成15年11月より医療安全管理及び感染予防等のエッセンスを掲載した医療スタッフポケットマニュアルを医療従事者全員に配付した。

ロ. 薬剤情報検索システム

平成17年6月より薬剤情報検索システムの運用を開始した。それにより、処方オーダー時に投与量や効用などの情報が検索できるようになった。

ハ. 持参薬の病棟薬剤師による処方チェックシステム

平成17年8月より持参薬の病棟薬剤師による処方チェックシステムを立ち上げた。

ニ. インスリン指示票の統一

平成16年12月よりインスリン指示票を配付し、指示の統一化を図った。

ホ. 是正処置実施計画書・報告書の作成

平成17年4月よりレベル3b以上のインシデントや、ヒヤリ・ハットのうち重大性の非常にあるものなど、ヒヤリ・ハットの検討会で是正計画を作成した方がよいと判断された事例について、部署に是正処置実施計画書・報告書の作成を依頼し、検証することとした。

ヘ. 院内巡回の定期化

平成17年度より、病棟・外来・中央診療部門等の全ての部署に対し、テーマを決めて毎月2～3部署ずつ巡回を行い、結果を診療科長等会議で報告している。また、上記「是正処置実施計画書・報告書」の報告のあった部署については、巡回時効果の確認を行っている。

ト. 医薬品及び医療機器安全管理委員会を整備

平成20年度、医薬品安全管理委員会と医療機器安全管理委員会を立ち上げ、安全情報を収集すると共に、副作用、不具合の収集、分析を行うこととした。

チ. 医療安全組織の改組

平成21年4月、医療安全管理室を改組して、医療の質・安全管理部とした。専任1名を増員し、臨床倫理、臨床指標の分析の支援を行える体制を整えた。

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有 ・ 無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <p>院内感染対策に関する基本的考え方、院内感染対策のための委員会・組織、院内感染対策のための職員等に対する研修に関する基本方針、院内感染発生時の対応（報告体制含む）に関する基本方針、患者・家族等に対する指導およびインフォームドコンセントと当該指針の閲覧に関する基本方針、その他院内感染対策の推進のために必要な基本方針（サーベイランス・コンサルテーション・職業感染対策・マニュアルの編集・院内環境の整備・地域連携）</p>	
② 院内感染のための委員会の開催状況	年 24 回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 院内感染対策委員会…月 1 回、感染制御部会…月 1 回 実施 ・ MRSA及び耐性菌の検出情報、院内ラウンド内容、新型インフルエンザ対応、職業感染予防（結核曝露対策、ワクチン接種、針刺し・切創予防など）、院内感染予防マニュアルの改訂、院内必修講習会の内容などを検討・実施計画立案している。 	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 48 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新規採用者全員に対し院内感染防止対策の基本について年 1 回オリエンテーション。 ・ 全職種に対して、職員必修講習会として年 2 回（職員全体で同じ内容を計 14 回実施）、医療安全部門と共に時期に応じて院内感染対策上重要なポイントおよびトピックスや実例について講演。 ・ 職種別（医師、看護師、診療技術部門、委託業者等）にも各々年 2～14 回、各職種に応じた現場で遵守すべき感染対策の知識や技術について講義やトレーニングを実施している。 ・ 新たな問題が生じた際の緊急職員集会（このたびの多剤耐性菌の報道などに対して）の開催。 	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有 ・ 無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 定期（週 1 回）及び随時に耐性菌発生状況をモニタリングし、抗菌薬の使用状況と感染対策実施状況確認（ラウンド）し、必要時指導する。 ・ 抗菌薬使用状況調査し毎週開催の抗菌薬適正使用プロジェクトで抗菌薬の使用法を検討し、随時介入指導。 ・ 随時、現場医療従事者からのコンサルテーションをうけて、即応。 ・ 侵襲処置・医療器具関連感染、針刺し・切創のサーベイランスを実施。 ・ 血流感染サーベイランスなどを実施。 ・ 職員のワクチン接種プログラムを計画・実施する。 ・ 6年次医学科学生の個別計画実習を通じて、次世代へ院内感染対策を伝達 	

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有 ・ 無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 2 回
・ 研修の主な内容： 麻薬管理、ハイリスク薬、インスリン・経口糖尿病薬について	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
・ 手順書の作成 (有 ・ 無) ・ 業務の主な内容： 医薬品の採用・購入、調剤、服薬指導、安全使用に関する内容、ハイリスク薬に関する事項	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有 ・ 無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： ● 重大な事例は、医療の質・安全管理部ミーティング、医薬品安全管理委員会にて報告や改善策の検討を行っている。 ● 必要な情報は、外来、病棟等の各部署に紙媒体で配布すると共に、病院情報システムへの掲載や院内各種会議での報告を行っている。	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有 ・ 無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 48 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人工呼吸器、輸液・シリンジポンプ、徐細動器、補助循環、血液浄化装置、 についての操作方法及び、管理上の注意点とトラブルシューティングについて。 ・ 全職員に対して、職員必修講習会として輸液・シリンジポンプと生体情報モニター の安全操作と管理について年2回（同じ内容を13回）実施 	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画の作成 (有) ・ 無) ・ 保守点検の主な内容： 院内の臨床工学技士による、定期点検（消耗品交換含む）と、メーカー実施における点検報告書の管理。 	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機器に係る情報の収集の整備 ((有) ・ 無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 院内必修講習会において、医療機器に関する安全情報の提供と不具合報告の連絡体制の整備。 医療情報端末（電子カルテ）を用いての安全情報の共有 	